

株主のみなさまへ



株主通信

第96期中間期

平成14年4月1日～平成14年9月30日

**日本軽金属株式会社**  
NIPPON LIGHT METAL COMPANY, LTD.

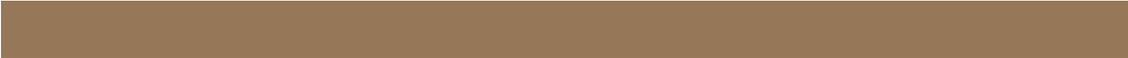


# 連結事業の概況 NLM Group at a glance

---

向から、日本軽金属グループを取り巻く経営環境は、今後厳しくなっていくものと予想されます。そうした状況下にあります、中間配当金につきましては、諸般の事情を勘案し、これを見送ることとさせていただきます。株主のみなさまには申し訳なく存じますが、ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

当社は、この10月1日に、押出・軽圧加工事三



## 押出・軽圧加工事業の分社化

これまで当社が行ってきた押出・軽圧加工事業 アルミニウム押出材の製造・販売、並びに仮設建設・産業資材製品、トラック関連製品などの軽圧加工製品の製造・販売を取り巻く経営環境は、以前にも増して厳しい環境下にあります。このような状況下において、将来にわたって安定した収益力のある事業とするためには、付加価値の高い押出加工分野への迅速かつ積極

## 東洋アルミ事業の分社化

当社は、平成11年10月の旧東洋アルミニウム(株)との合併に伴い、アルミ箔、アルミパウダー・ペーストの生産部門を統合し、経営思想・理念の一体化、開発、営業活動の連携を深め、シナジー効果を発揮してまいりました。

特に、アルミ箔分野とペースト分野ではトップシェアを有するなど、圧倒的な競争優位性を維持してまいりました。今後、この基盤を元に、さらなる競争力・収益力の強化を図るためには、製販一体体制による経営効率の向上が不可欠と判断し、平成14年10月1日付をもって会社分割（吸収分割）により東洋アルミニウム株式会社との事業統合を行いました。今後、東洋アルミニウム(株)では、製販一体化による競争力・収益力の強化により、平成14年度には売上高を679億円に、平成18年度には売上高795億円の達成を目指します。

## 分社後のグループ運営

当社は「グループ経営方針」のもと、グループ経営を基本とし、当社グループ連結での利益最大化を目指しております。

また、アルミニウムという共通の素材を通じ、横串活動や事業協力により相互補完的な関係をつくり、グループ内の経営資源をより有効に活用し、新製品・新技術の開発を行えることが日本軽金属グループの特色であり、強みでもあります。

したがって、今回の3事業についても、分社後もグループ一体運営の考え方に従い、今後も日本軽金属グループでの全体最適を目指した運営を行います。

具体的には、中期経営計画の中でコミットメントする目標の達成、当社の経営会議のメンバーとしての参加や月次業績検察<sup>※</sup> 4

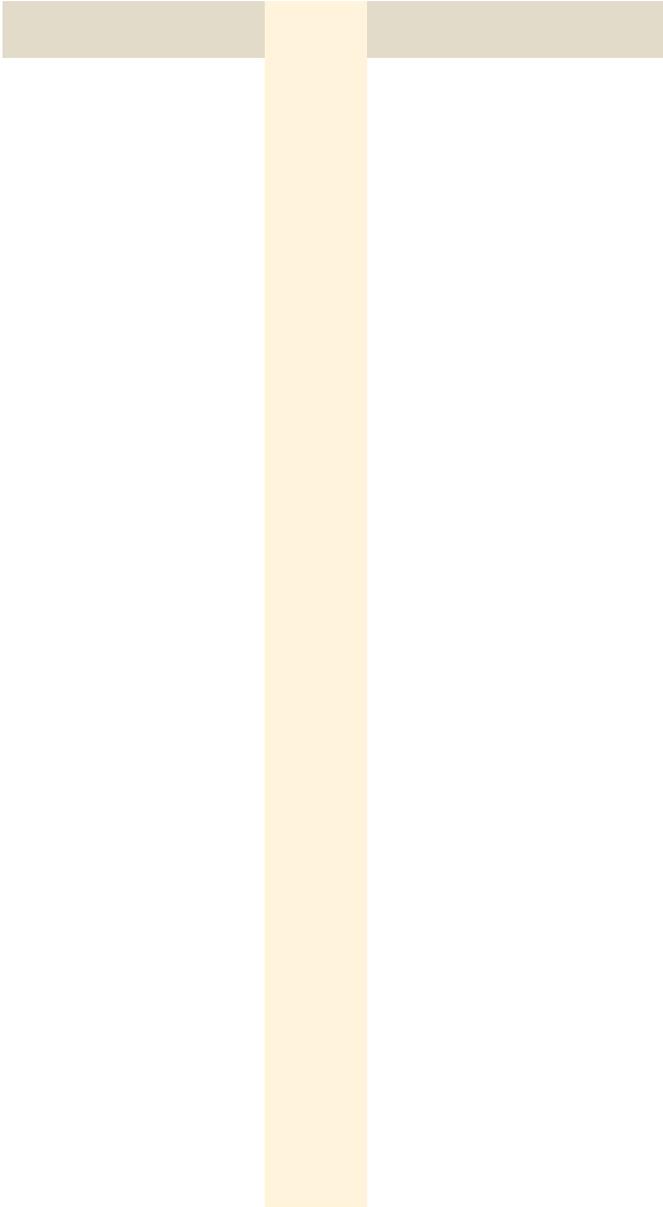
# 連結財務諸表

科目	平成14年 9月中間期	平成14年 3月期	増 減 ( は減少 )	平成13年 9月中間期	科目	平成14年 9月中間期	平成14年 3月期	増 減 ( は減少 )	平成13年 9月中間期
<b>資産の部</b>					<b>負債の部</b>				
流動資産	<b>302,388</b>	305,813	3,425	312,607	流動負債	<b>310,914</b>	334,732	23,818	325,303
現金及び預金	<b>61,854</b>	48,755	13,099	43,010	支払手形及び買掛金	<b>96,766</b>	112,569	15,803	116,457
受取手形及び売掛金	<b>154,184</b>	172,598	18,414	175,374	短期借入金	<b>128,276</b>	132,307	4,031	132,777
たな卸資産	<b>72,507</b>	73,381	874	79,717	一年内償還社債	<b>40,000</b>	47,000	7,000	37,000
その他	<b>17,158</b>	14,968	2,190	18,175	その他	<b>45,872</b>	42,856	3,016	39,069
貸倒引当金	<b>3,315</b>	3,889	574	3,669	固定負債	<b>154,127</b>	141,870	12,257	161,707
固定資産	<b>248,162</b>	258,474	10,312	260,653	社債	<b>29,736</b>	39,800	10,064	69,716
有形固定資産	<b>191,305</b>	196,681	5,376	199,026	長期借入金	<b>93,335</b>	70,765	22,570	58,375
建物及び構築物	<b>66,489</b>	68,074	1,585	69,275	退職給付引当金	<b>20,938</b>	20,042	896	19,145
機械装置及び運搬具	<b>50,742</b>	53,268	2,526	54,158	役員退職慰労引当金	<b>1,263</b>	—	1,263	—
工具器具備品	<b>7,073</b>	7,755	682	8,172	連結調整勘定	<b>3,277</b>	5,240	1,963	7,203
土地	<b>65,095</b>	64,784	311	64,074	その他	<b>5,578</b>	6,023	445	7,268
建設仮勘定	<b>1,906</b>	2,800	894	3,347	<b>負債合計</b>	<b>465,041</b>	476,602	11,561	487,010
無形固定資産	<b>4,180</b>	3,941	239	3,584	少数株主持分				
投資その他の資産	<b>52,677</b>	57,852	5,175	58,043	少数株主持分	<b>4,296</b>	4,371	75	4,615
投資有価証券	<b>33,176</b>	38,515	5,339	38,138	<b>資本の部</b>				
その他	<b>27,677</b>	27,380	297	28,043	資本金	<b>39,085</b>	39,085	—	39,085
貸倒引当金	<b>8,176</b>	8,043	133	8,138	資本剰余金	<b>24,569</b>	24,569	—	24,569
<b>資産合計</b>	<b>550,550</b>	564,287	13,737	573,260	利益剰余金	<b>18,823</b>	19,428	605	17,822
					土地再評価差額金	<b>493</b>	493	—	493
					その他有価証券評価差額金	<b>702</b>	324	378	657
					為替換算調整勘定	<b>765</b>	578	187	991
					自己株式	<b>1,694</b>	7	1,687	0
					<b>資本合計</b>	<b>81,213</b>	83,314	2,101	81,635
					<b>負債・少数株主持分・資本合計</b>	<b>550,550</b>	564,287	13,737	573,260

科目	平成14年 9月中間期	平成13年 9月中間期	増 減 ( は減少 )	平成14年 3月期
売上高	<b>250,754</b>	262,654	11,900	521,861
売上原価	<b>200,382</b>	211,744	11,362	419,189
売上総利益	<b>50,372</b>	50,910	538	102,672
販売費及び一般管理費	<b>41,903</b>	46,460	4,557	90,949
営業利益	<b>8,469</b>	4,450	4,019	11,723
営業外収益	<b>3,988</b>	3,762	226	8,325
受取利息	<b>59</b>	88	29	156
連結調整勘定償却額	<b>2,024</b>	1,963	61	3,926
持分法による投資利益	<b>183</b>	—	183	—
賃貸料	<b>481</b>	474	7	909
その他の営業外収益	<b>1,241</b>	1,237	4	3,334
営業外費用	<b>7,811</b>	7,043	768	15,243
支払利息	<b>3,103</b>	3,181	78	6,257
持分法による投資損失	—	208		







マツダ様の世界戦略エンジン向けアルミ合金供給を開始  
新規開発合金と改良合金の生産量年間12,000トン超に

当社は、マツダ様が平成14年5月に発売を開始された  
新型エンジン「SKYACTIV-G」の生産増強に際し、当社が研製したアルミ合金の生産量も、従来に比し大幅に増加し、





# 株主メモ

---

